

安曇野民報

ほりがね

第 1 号

2018年4月20日発行

安曇野民報ほりがね発行所

安曇野市堀金三田1160

TEL・FAX 73-4465

日本共産党の見解をお伝えします。ご意見等をお寄せください。



12月議会

12月・3月議会を終えて

臼井泰彦

昨年10月15日の選挙から、半年が過ぎてしまいました。1891票に込められた熱く切なる思いを少しでも生かそうと、多くの方から話を聞き、学び、議会で活動してきました。

市政を変えてほしい！暮らしやすい市にしてほしい！住みたくなるような街にしてほしい。〇〇〇を何とかしてほしい！・・・とても簡単に応えられない、大きな難しい問題がたくさんあります。

一つ一つの問題について、市役所の窓口で担当者から説明を聞き、その道の専門の方から話を聞き、先輩議員から話を聞き、研修会に参加して学習する。実際に歩いて自分の目で確かめ、踏査し、書籍やネットから情報を得る。こうしたことを積み重ねて、議会での一般質問や意見を考えました。

議会活動については、日本共産党安曇野市議団ニュース（1月20日発行および4月20日発行）や広報の議会だよりだけでは十分伝えきれないところもここで報告できればと思います。どうか厳しいご批判とともに、ご意見、ご要望をお寄せいただきたいと思います。

市議会12月定例会は、11月22日から12月19日の28日間の日程で開催されました。日本共産党安曇野市議団は、市民のいのちと暮らしを守る立場から審議に参加し、臼井泰彦議員も初めての一般質問をしました。

議員提出議案の「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」が全会一致で採択されました。また「介護従事者の勤務環境及び待遇改善の実現を求める陳情書」が全会一致で採択されました。

臼井議員の 一般質問

問 中学校の通学路を優先して、防犯灯を設置できないか。
答 市長は防犯灯設置要綱では、「市長は犯罪、事故等が発生するおそれがある場合、独自に防犯灯を設置する場合、中学校の通学路を優先して、防犯灯を設置できないか。

市長 中学校の通学路における防犯灯の設置は重

問 中学校の通学路を優先して、防犯灯を設置できないか。
答 市長は防犯灯設置要綱では、「市長は犯罪、事故等が発生するおそれがある場合、独自に防犯灯を設置する場合、中学校の通学路を優先して、防犯灯を設置できないか。

市宣言でも「全世界の国民が恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」という、市平和都市宣言でも「全ての不安や争いをなくすために私たちは行動します。」とうたっている。市長に「中学校の通学路を優先」とすると判断してほしい。

日本国憲法前文では「全世界の国民が恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」という、市平和都市宣言でも「全ての不安や争いをなくすために私たちは行動します。」とうたっている。市長に「中学校の通学路を優先」とすると判断してほしい。



条例案に意見を述べる臼井議員

3月議会

国井議員の一般質問

「あづみん」の運行見直しで利便性は高まるのか

問 「あづみん」の運行見直しにより利便性はどう高まるのか。

政策部長 堀金地域の車両1台を穂高地域に回すこと、予約しにくい状況が緩和される。堀金地域の車両を定員12人の車両に変更する。

問 堀金地域では1時間

1本の運行となり、待ち時間の予測がしにくくなること、大糸線下り豊科着4時20分頃の利用者が4時便に乗れなくなる可能性があること、敷地の

3月定例議会は、2月19日から3月19日まで開かれ、30年度一般会計予算案など52の議案と3つの陳情が審議されました。市民の暮らしを守る視点から審議に臨みました。

し、新設の公共交通政策に、技術革新、先進地事例の情報把握、将来的なニーズの予測をしつつ、関係部署、事業者と連携を密にして、多様な交通システムの研究を進めた

研究が必要ではないか。

市長 交通政策係を中心

に、技術革新、先進地事例の情報把握、将来的なニーズの予測をしつつ、関係部署、事業者と連携を密にして、多様な交通システムの研究を進めた

研究が必要ではないか。

し、新設の公共交通政策

について、地元産物の使

用率について伺う。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマネギ4割、ナガネギ5割、豚肉はほぼ全量。加工品もできるだけ市内から調達。味噌は市内農産物直売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

に交通量の多い県道の歩道整備について伺う。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で行つてい

る。米は全量。副食材の

使用率は、金額で7%。

野菜、果物等26%。タマ

ネギ4割、ナガネギ5割、

豚肉はほぼ全量。加工品

もできるだけ市内から調

達。味噌は市内農産物直

売所や市内醸造業者。二

ジマスなど安曇野特産を

利用等、努力している。

毎月19日を地元産食材を

取り入れた安曇野の日献立を実施している。

問 食育、農家や事業

所を元気にすることにつ

ながる。地震など非常時

に市民の食を守ることに

ついてどう考えるか。

問 公共交通の運行形態

や技術の発展、階層別の

情報交換の場づくりをし

ていきたい。

は、安曇野産、県内産、

国内産の順で

